

学校給食食材の放射性物質の測定検査の結果について（第3回）

検査は株式会社同位体研究所に依頼し、検査手法は放射性ヨウ素（I-131）と放射性セシウム（Cs-134、137）を判別して測定する核種検査としました。

検査の結果、放射性物質は検出されませんでした。

1. 測定日 5月17日
2. 検査機関 株式会社同位体研究所
3. 検査結果

品目	産地	放射性物質の濃度 (Bq/kg)				
		ヨウ素 (I-131)		セシウム (Cs-134)		セシウム (Cs-137)
		実測値	基準値	実測値	基準値	実測値
5月8日 飲用牛乳	群馬県太田市 (東毛酪農業)	ND (<0.6)	50	ND (<0.8)	50	ND (<1.0)
5月15日 飲用牛乳	群馬県太田市 (東毛酪農業)	ND (<0.8)	50	ND (<1.0)	50	ND (<1.0)
さつまいも	茨城県	ND (<0.6)	100	ND (<0.7)	100	ND (<1.0)
ピーマン	茨城県	ND (<0.7)	100	ND (<1.0)	100	ND (<0.7)
山菜ミックス	青森県ほか	ND (<0.7)	100	ND (<0.6)	100	ND (<1.0)

山菜ミックス：わらび（青森、秋田県ほか）、ぜんまい（徳島、高知、新潟、青森県ほか）
細竹（青森、秋田県ほか）、えのき茸（長野県ほか）

※括弧内の数値は定量下限値で、NDは定量下限値にて不検出を意味します。